

科目	哲学 (Philosophy)		
担当教員	稲岡 大志 非常勤講師		
対象学年等	全学科・5年・通年・選択・2単位 (学修単位I)		
学習・教育目標	C3(80%) D2(20%)	JABEE基準1(1)	(a),(b)
授業の概要と方針	哲学とは言葉を用いて世界についての理解を深める学問である。思考実験や概念分析といった哲学的方法論のエッセンスを理解するために、講義前半では過去の主要な哲学者による議論を概観する。また、哲学は同時代の社会や科学技術の進展に連動して展開する学問でもある。講義後半では、現代の社会や科学技術をめぐる問題に対して、前半を踏まえながら哲学にはなにができるのかという問題を考察する。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【C3】現代の社会や科学技術をめぐる問題について、その要点を理解し、自分なりの哲学的思考ができるようになること。		現代の社会や科学技術をめぐる問題について、その要点を理解し、自分なりの哲学的思考ができるようになったかをレポート、定期試験で評価する。
2	【D2】過去の哲学者がどのような問題にどのように取り組んだのかを知ること、哲学的方法論についての理解を深めること。		過去の哲学者の議論を理解し、哲学的方法論についての理解を深めることができるようになったかをレポート、定期試験で評価する。
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験50% レポート50% として評価する。100点満点で60点以上を合格とする。授業レポートの評価を重視する。		
テキスト	ノート講義		
参考書	講義時に資料を配布する。		
関連科目	倫理		
履修上の注意事項	特になし		

授業計画 1 (哲学)		
回	テーマ	内容(目標, 準備など)
1	哲学とはいかなる学問なのか	哲学がいかなる学問なのかを具体例を挙げて講義することで、「哲学」という営みについて、おおまかなイメージが得られるようする。
2	古代ギリシア哲学(1)	ソクラテス以前の哲学者の哲学の要点を講義し、古代ギリシア特有の世界観や自然観を理解できるようにする。
3	古代ギリシア哲学(2)	プラトンの対話篇を読みながら、ソクラテス哲学の要点の一つである「哲学的問答法」についての理解を深める。
4	古代ギリシア哲学(3)	プラトン哲学の要点を講義し、その後の哲学を学ぶのに不可欠な概念枠組みについての理解を深める。
5	古代ギリシア哲学(4)	アリストテレス哲学の要点を講義し、形而上学、自然学、生物学、倫理学などあらゆる領域にアンテナを伸ばすアリストテレス哲学のエッセンスを理解できるようにする。
6	中世スコラ哲学	中世スコラ哲学における「神の存在証明」の議論を講義し、「論理を用いて何ごとかを主張する」という、哲学に特有の方法論についての理解を深める。
7	近代哲学(1)	デカルト哲学の「方法的懐疑」について講義し、伝統的に哲学において議論されるテーマである「懐疑論」についての理解を深める。
8	近代哲学(2)	ライブニッツやスピノザといった、デカルトと同時代の哲学者の議論を講義し、同時代の自然科学や数学と連動して展開される哲学についての理解を深める。また、前回の講義と合わせて、大陸合理論についての理解も深める。
9	近代哲学(3)	引き続きライブニッツやスピノザの哲学について講義し、ヨーロッパ近代哲学のエッセンスを理解できるようにする。
10	イギリス経験論	バークリやロックといったイギリス経験論の哲学者の議論を講義し、その後の哲学の主要潮流の一つである経験主義についての理解を深める。
11	ドイツ観念論(1)	カント哲学について講義し、大陸合理論とイギリス経験論の総合としてのカント哲学という、哲学史におけるスタンダードな図式の理解を深める。
12	ドイツ観念論(2)	引き続きカント哲学について講義し、その要点と問題点についての理解を深める。
13	現象学	フッサールの現象学について講義し、哲学的方法論としての「現象学的還元」についての理解を深める。
14	実存主義	サルトルやハイデガーといった実存主義の哲学者について講義し、その要点と問題点についての理解を深める。
15	分析哲学	現代の分析哲学の議論における諸問題について講義し、その要点と問題点についての理解を深める。
16	科学とは何だろうか(1)	科学とは一体どのような営みなのかを具体的な事例を挙げつつ講義する。
17	科学とは何だろうか(2)	科学哲学におけるパラダイム論について講義し、その要点と問題点についての理解を深める。
18	科学とは何だろうか(3)	疑似科学と通常科学の線引き問題について、受講生にとって身近な事例を参照しながら講義し、その要点と問題点についての理解を深める。
19	心の哲学(1): 心身二元論	心の哲学における「心身二元論」と呼ばれる立場について講義し、その要点及び問題点についての理解を深める。
20	心の哲学(2): 機能主義	心の哲学における「機能主義」と呼ばれる立場について講義し、その要点と問題点についての理解を深める。
21	心の哲学(3): 中国語の部屋	いわゆる「中国語の部屋」論法と呼ばれる思考実験について講義し、その要点と問題点についての理解を深める。
22	心の哲学(4): クオリア問題	クオリアと呼ばれる人間の心を考えるに際して重要な概念について講義し、その要点と問題点についての理解を深める。
23	心の哲学(5) ロボットは心を持てるか?	これまでの講義内容を踏まえて、「ロボットは心を持てるか?」という問題について講義する。その際には現在のロボット研究についても触れることで、講義内容についての理解がより深められるようする。
24	数理学と哲学(1): 無限と連続	「無限と連続」という主題について、数学史から具体例を挙げながら講義し、その哲学的な問題点についての理解を深める。
25	数理学と哲学(2): 証明と計算	「証明と計算」という主題について、数学史や現代の計算機科学から具体例を挙げながら講義し、その哲学的な問題点についての理解を深める。
26	数理学と哲学(3): 数学はなぜ役に立つのか?	自然科学において数学が有用な帰結をもたらすという事実について、それが哲学の問題であり、哲学はこの問題に対してどのような答えを提供できるかを講義する。
27	科学技術と社会(1): 「エンジニア」とは何か?	科学技術は個人ではなく集団によって担われる営みである。こうした特性について具体例を挙げながら講義し、現代における科学技術についての理解を深める。
28	科学技術と社会(2): 科学技術と組織	科学技術は個人ではなく集団によって担われる営みである。こうした特性について具体例を挙げながら講義し、現代における科学技術についての理解を深める。
29	スポーツと社会(1): スポーツマンシップとは何か?	いわゆる「スポーツマンシップ」について、具体例を挙げながら哲学的な分析を講義する。それにより、これまで持っていたスポーツに対する理解を各自が批判的に再検討できるようになることを目指す。
30	スポーツと社会(2): 社会におけるスポーツ	ファンの存在、ドーピングの禁止、プロスポーツとアマチュアスポーツの違いなど、現代社会を取り巻くスポーツの状況について講義し、その要点と問題点についての理解を深める。
備考	前期定期試験および後期定期試験を実施する。	